

超ベテラン会員のテニス合宿

9月12日(水)・13(木)の両日、武蔵嵐山にある国立女性教育会館に於いてテニス合宿を行った。真夏の猛暑から一転し9月に入ると秋雨前線が停滞し当日も朝から雨で、延期も視野に入れながら会場に着いたが、皆の一念が通じたのか雨も止み人工芝のコートは絶好のコンディションとなった。

今回の参加者は五十嵐・半田(6回)・秋山(7)・村田(10)・結城(11)・佐々木(13)の6名、実に平均年齢70歳。そもそも70歳になって狂気の沙汰とも思えるテニスの合宿を計画したのか、若干説明しておきたい。

今年の2月中旬、上記の参加メンバーの他、松田(7)・榎本(8)・嶺(12)が加わって飲み会を実施。その席上「我々の交際の原点は浦高でのテニスなので、久しぶりではあるがラケットを握ろうではないか」となった。そこで大宮第2公園のコートで月1~2回のペースで練習会が始まり9回実施、練習後は必ず飲み会となるが10回目を記念し合宿することになり、秋山氏の骨折りで実現した。

振り返るとみんな何十年とラケット握っていないので(私は50年振り)、最初はすぐに息切れし殆どボールに追いつけず、又あんなに大きなラケットなのになぜか空振りが続出、どうなる事かと思ったが次第に昔を思い出し、最近ではラリーも続くようになり、回を重ねる事によってテニスの面白さを実感している。

合宿は1日目、2時30分頃開始、乱打に始まりサーブ・レシーブ・ヴォレーの練習ののち試合を行い、心地よい汗をたっぷり流して5時終了。宿泊施設は成程、女性教育会館なので周りは各種サークル活動で利用している女性、それも若いお嬢さんが殆どでやや照れ臭い。早速食堂で今日の一大行事を肴に多めに盛り上がり、いつの間にか食堂は我々のみ。慌てて談話室に移りサッカーを見ながら2次会、そして自室で3次会。可なりピッチが上がり翌日皆で反省しきり。

2日目も絶好のテニス日和、9時から昼食1時間をはさんで2時30分まで、たっぷりテニスを楽しんだ。

実は女性教育会館には自室にテレビが無く、朝ロビーの新聞も見ずにコートに飛び出したため安部首相の辞任報道も昼食まで知らず吃驚仰天した。

こうして素晴らしい施設と天候に恵まれて楽しかった合宿を終え、さらに友情を深めながら、川越で昨夜の反省からささやかな打ち上げを行い、来年の麗和会懇親テニス大会に参加する事を目標に精進することで散会した。

